

## 優秀賞

助け合いとは人を幸せにする

真鶴町立まなづる小学校五年 関 浦 歩 花

みなさんは、「助け合い」という言葉からどんなことを考えますか。私は、「助け合い」とは、一方だけが助けるのではなくおたがい助けることが「助け合い」だと、私は考えました。私は、自分が今までに「助け合い」だと感じるものがいくつかりました。今日は、その中からこれが「助け合い」と思うものを一つ紹介します。

それは、今だからこそそのコロナ感染症予防が「助け合い」だと考えました。今の時代、コロナ感染症予防のため、手洗い、消毒、マスク着用、換気、ソーシャルディスタンスなど、人々が未だに明確な治療法がない恐ろしい病と向き合い、それのできることに取り組んでいます。もちろん、自らの身を守るためでもある感染症予防ですが、それは同時に、周りを助けることにもつながっているのです。また、お医者さんやかんごしも助け合い、治療してコロナにかかった人を助けています。でも、周りの人がコロナ感染症予防をしてくれないと、医者やかんごしは、いそがしく大変になってしまいます。こうして、助け合っているからこそ、今コロナにかからず安全に過ごすことができます。まだ、コロナにかかっていない人は、今後色々な人がコロナウイルスにかからないように予防しあう。そして、医者やかんごしは、治療して助ける。コロナ感染症予防は、助け合いとっていいでしょう。このように、もし人間が助け合わないで、自分のことだけ考えていたら、今人間は、いないでしょう。「助け合い」は人を幸せにします。助けられた人は、もちろん幸せでしょう。ですが、助けた人も助けられた人に感じやされ幸せになります。人間は、助け合っているから、生きていると考えました。